

## 東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 准教授公募

1. 公募人員：准教授 1 名

2. 所属部門・講座：

工学系研究科総合研究機構（〒113-8656 東京都文京区弥生 2-11-16）（注 1）

就業場所の変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第 4 条による。）。

3. 公募する専門分野：

本専攻では、重要な社会的諸問題解決に向けた要素となる材料・反応・デバイスの開発・解析から、要素技術のシステム化、社会実装に至るまでを総合的に研究・教育している。

今回公募する専門分野は、材料合成実験・シミュレーション・情報科学の最先端手法を駆使し、革新的材料の合成可能性やプロセスの予測・設計を通じて、材料開発の新たなパラダイムを創出するものである。本分野に関する卓越した業績を有し、教育・研究に積極的に取り組む意欲ある方を求める。

採用された場合には、大学院工学系研究科の新分野開拓准教授制度（注 2）の下で、独立した研究室を主宰するとともに、化学システム工学科・専攻の学生の教育・研究指導を行う。

業務内容の変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある（意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第 4 条による。）。

4. 着任時期：2026 年 4 年 1 日以降のなるべく早い時期

5. 勤務形態：常勤

6. 任期：5 年、更新する場合があり得る。更新回数は 1 回、更新後の任期は 3 年とする。更新は、従事している業務の進捗状況、勤務成績、勤務態度、健康状況、予算の状況、契約期間満了時の業務量等を考慮のうえ判断する。

7. 試用期間：採用された日から 14 日間

8. 就業日・就業時間：専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分・週 5 日勤務したもののとみなされる。

9. 休日：土・日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

10. 応募資格：博士の学位を有する方。

11. 給与：本学の規程による。

12. 加入保険：法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入。

13. 募集者名称：国立大学法人東京大学

14. 提出書類

① 履歴書（東京大学統一フォーマット（注 3）を使用のこと。）

② 研究業績目録（原著論文、国際会議論文、総説・解説、著書、国内外学会における招

待講演、特許等に分けて記載のこと。)

- ③ 教育業績目録（担当授業科目、非常勤講師等）
- ④ 社会貢献目録（学会活動・委員会活動等）
- ⑤ 外部資金の獲得状況（任意書式）
- ⑥ これまでの研究概要（A4で2ページ以内）
- ⑦ 主要論文の別刷（5件以内）
- ⑧ 今後の研究と教育に関する抱負（研究はA4で2ページ、教育はA4で1ページ）
- ⑨ 本人に関する意見を聞くことのできる方2名の氏名と連絡先（所属・役職、住所、電話番号、e-mailアドレス）

15. 公募締め切り：2025年11月14日（金）必着

16. 書類提出先・問い合わせ先：

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 専攻長 杉山弘和

Phone: 03-5841-7227

Email: [chair@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:chair@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp)

書類は上記アドレス宛に添付ファイル（合計10MB以内）として提出すること。提出を受けて、こちらから受領の旨を返信する。返信が無い場合は問い合わせること。

17. その他

- ・ 応募書類は本応募の用途に限り使用し、個人情報を正当な理由なく第三者に開示・譲渡・貸与することはない。
- ・ 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
- ・ 安全保障輸出管理上の留意点：  
採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。  
このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。

注1：総合研究機構は、工学系研究科を支える共通基盤技術の開発だけでなく、社会と工学系研究科の間や、工学系研究科内の専攻の間に跨る融合的研究の推進を目指す戦略的研究拠点であり、工学の新分野の開拓も併せて行っている。

注2：新分野開拓准教授制度は、工学系が開拓すべき新分野または融合分野において、世界のトップを走る研究者の育成を目指すものであり、採用された場合には、関連専攻の教育研究に関与しつつも、独立した研究推進により、新規の高い研究成果を目指すことが期待される。

注3：以下のサイトよりダウンロードし、記入要項・記入例に従って作成のこと。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>